



歌はへた、踊りもいまいち、  
でもなんだか感動する!

# 穴工 想心 埴師 塀

ドキュメンタリー映画

若竹ミュージカル物語

Kimoon Film 監督 / 金聖雄

日本発達障害学会  
創立 50 周年記念上映会

2015年 7月 4日 (土)

16:15 ~ 18:00

於：東京学芸大学 芸術館ホール

製作：Kimoon Film 製作上映委員会 (2012年 / 107分)

出演：若竹ミュージカルのみなさん

撮影：渡辺勝重 池田俊巳 世良隆浩

編集：野村太 制作：桜井さと実

録音：永峯康弘 渡辺丈彦 音響効果：米山靖

撮影協力：亀田南海雄 新里勝也 テーマ曲：横内丙午

デザイン：サイトラヒデユキ 特別協力：伊勢真一

制作協力：ヒボコミュニケーションズ 翔の会 アズマックス

監督：金聖雄





ドキュメンタリー映画

# 空想劇場

若竹ミュージカル物語

Kimoon Film 監督／金聖雄



「歌はへた、踊りもいまいち、でもなんだか感動する！」

そんな“若竹ミュージカル”の不思議な魅力がいっぱいつまったドキュメンタリー映画「空想劇場」。

「ぼく幸せにしますのセリフが入っているようなラブストーリーをやりたい」

“若竹ミュージカル”はそんなひと言からはじまりました。小さな森に囲まれたかつての学び舎に特別支援学校の卒業生たちが月に2回いそいそと集まってきます。

ダウン症や知的障害を持ちながら社会に出るといことは、荒波の海に船を漕ぎだすようなもの。年齢を重ねる度に仕事、結婚、自立、老い・・・様々な現実が押し寄せてきます。

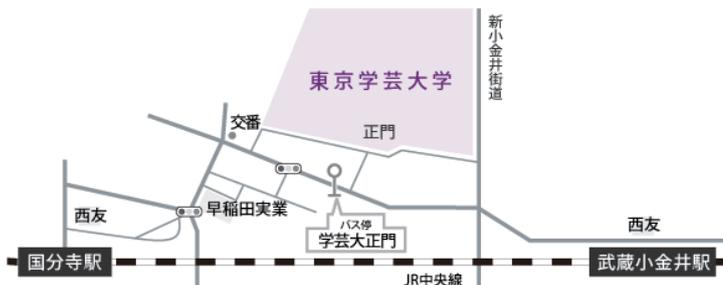
“若竹ミュージカル”は卒業生が孤立することなく、より豊かな人生を送れるように、集い、語り、発散できる場として保護者や先生など支援者に支えられスタートしました。

演目は名作「サウンド・オブ・ミュージック」、「ウエストサイド・ストーリー」、「屋根の上のヴァイオリン弾き」など。ひとつの作品を2年も3年もかけてゆっくり、つくりあげていきます。みんなはそのプロセスを通して「歴史」を知り、「戦争」を知り、「恋」を知り、自分の生き方を考えます。

親や先生たちも、最初はよくある当事者支援として関わっていました。しかし、しだいに歌うこと、踊ること、演じることに魅せられていきます。1997年には若竹ミュージカルオーケストラも誕生。みんな「親でもなく子でもなく先生でもなく同じミュージカルを作る仲間」という意識が芽生えてきたのです。

カメラはそんな若竹ミュージカルのなんでもない日常に寄り添いました。特別に何か起こるわけではありません。でもなんだか知らないけど面白い。心地いい。不思議な気持ちになります。

さて、いよいよ映画「空想劇場」の幕が上がります。



東京学芸大学 小金井キャンパスまでのアクセス

- ・JR 武蔵小金井駅・北口より (徒歩の場合は約 20 分)  
5 番バス停から「小平団地」行に乗車、約 10 分。「学芸大正門」下車、徒歩約 3 分。
- ・JR 国分寺駅北口より 徒歩約 20 分  
(JR 国分寺駅北口 → 早稲田実業学校 → 連雀通り / 小金井市保健センター前)  
(国分寺駅から大学へのバスは出ておりません)  
※東急東横線「学芸大学」駅ではございませんのでご注意ください。

7月4日(土)

16:15 ~ 18:00  
入場無料

東京学芸大学 芸術館ホール

(小金井キャンパス正門入って左手奥)

## ご注意

会場の座席には限りがあります (約 400 席)。満席の場合は、立ち見での鑑賞をお願いすることや、鑑賞をお断りすることがあります。予めご了承ください